

安全確認された道路であっても、道路が沈下しマンホールが盛り上がりつついたり橋のつなぎ目がずれているなど障害が多く時速20キロから30キロの速度で救急搬送はとても神経を使う任務であったそうです。

救急隊として派遣された2人の感想は、長期化する避難所生活の衛生面の悪化は必至で、感染症などの心配や津波の關係でちりや砂ぼこりの粉じんの多さも気になったと話していました。

4月1日～7日
派遣署員 加勢寿 隊員
派遣先 宮城県石巻市
活動内容 消火隊（人の
探索や物品の回収等）

探索活動は、朝7時30分に徒歩で目的地に向かい行われました。

人の探索というよりは、持ち主が判りそうな物品の回収が主な任務となり、水の引かない地域での探索活動はかなり大変で「力の無さを感じました」と活動の感想を話していました。



探索活動の様子

この支援活動で被災地を訪れた派遣職員たちの言葉からは、今回の災害の規模の大きさを読み取ることができました。

チーズを被災地に！

夢民舎（代表 宮本正典氏）がカマンベールチーズ千個を被災地へ届けました。

社員2名と町職員1名が4月20日～23日の日程で訪れた

震災後、町や消防から派遣する職員は、北海道の支援隊の一員として現在も交代で活動しています。

被災地への支援活動には自治体だけでなく早来・安平自衛隊の駐屯地が岩手の駐屯地支援拠点開設・運営のため燃料補給業務を続けていたり、他の部隊に所属する町内在住の自衛隊員の方も被災地で活動をしているという情報をいただいています。

支援の全てを把握し広報で取り上げることができませんが、被災地支援を行う方への敬意を含め、今後も必要とする情報提供を行っていききたいと思っています。



のは本町とゆかりのある宮城県角田市と山元町の避難所。「北海道のチーズをここで頂けるとは思っていなかった」と感激され、「頑張るから」と被災者の方の言葉に逆に励まされる場面もあつたようです。避難所では野菜や乳製品が不足しているため、今回の支援物資の効果は予想以上のものでした。

中止
第13回 全日本ホルスタイン共進会北海道大会
10月7日～10日（月）開催

昨年、家畜伝染病「口蹄疫」の影響から本年度に開催が延期されていた本大会は、10月の開催に向け新たなスタートを切っていたところですが、

3月11日に発生した東日本大震災並びに福島原発事故の影響により多くの酪農家や畜産関係者が被災されている状況を踏まえ、大会主催者の社団法人日本ホルスタイン登録

協会では、復興支援が第一との考えから本大会を中止すると決定しました。

予定されていた北海道初開催となる本大会にける期待は大きく、町でも実行委員会を立ち上げて皆さんに関心を持って参加していただこうと、広報紙でも第1回大会からの入賞牛や当時の様子をご紹介します。

今回の大会中止については誠に残念ではありますが、開催に向けて催事の企画、物販・飲食物の出展準備等にご協力をいただきました関係機関及び町民の皆様には厚くお礼を申し上げます。

※第13回大会は中止決定となりましたが、第14回大会の開催方法や開催時期はまだ未定です。

今回の東日本大震災によって被災された皆様に対し、謹んでお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興がなされることを心よりお祈り申し上げます。

あびら町活性化イベント実行委員会